

平成28年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査

(第6回 6月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年よりやや少なく、平年よりやや多く出現した。

前年	平成27年6月17日	(17点の平均)	28.9 個/m ³
前回	平成28年6月1日	(7点の平均)	83.8 個/m ³
今回	平成28年6月15日	(17点の平均)	21.7 個/m ³
※6月下旬の平年値			13.5 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年と同程度で、平年より少なかった。

前年	平成27年6月17日	(17点の平均)	1.0 尾/m ³
前回	平成28年6月1日	(7点の平均)	13.3 尾/m ³
今回	平成28年6月15日	(17点の平均)	0.7 尾/m ³
※6月下旬の平年値			3.0 尾/m ³

○プランクトン調査

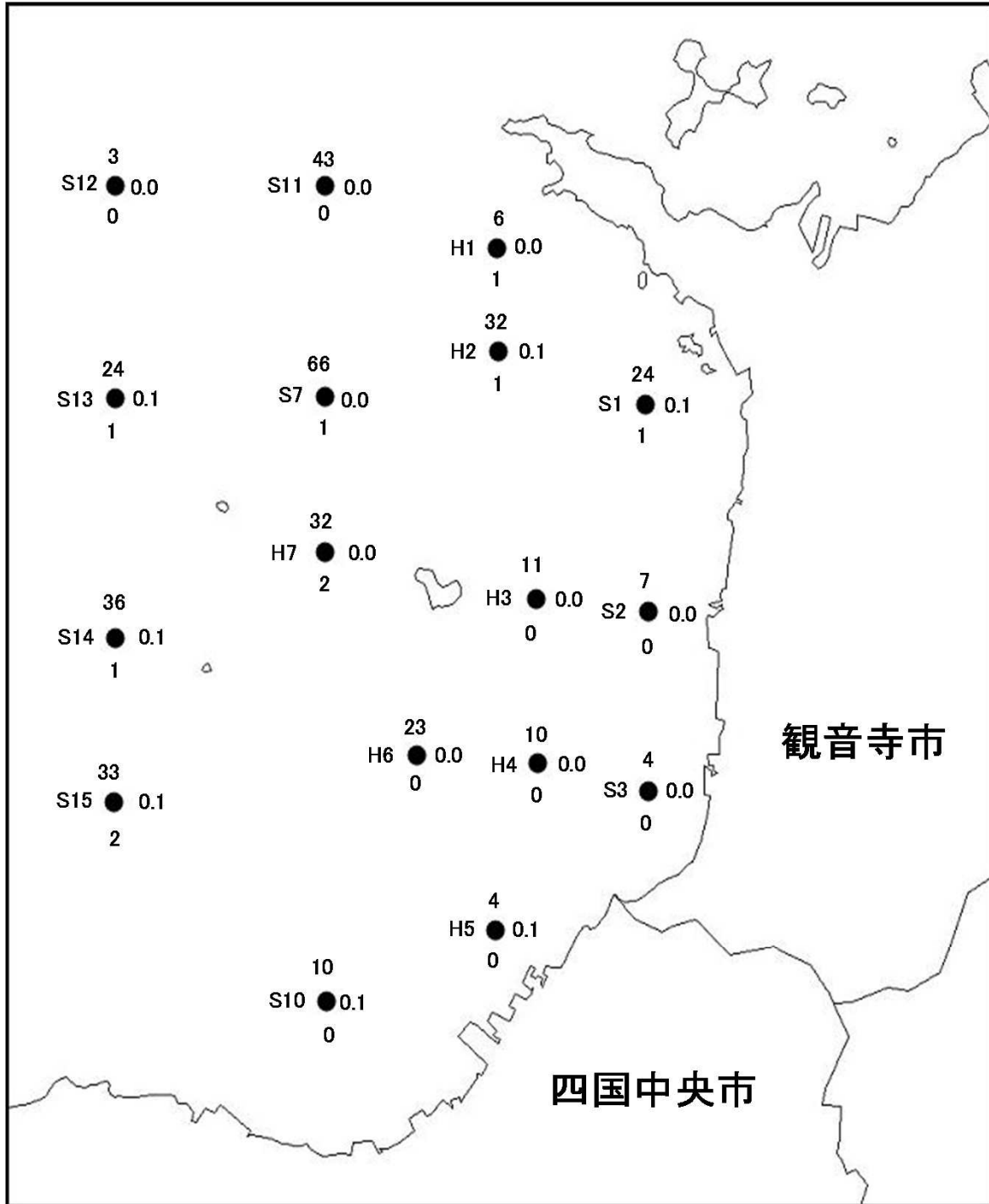
プランクトン量では、ミジンコ類が多かった。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類は平年より少なかった。

○クラゲ調査

カブトクラゲが、前年より多く出現した。

次回の調査は6月30日(木)の浅海定線調査に合わせて実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2016/6/15)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。
※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

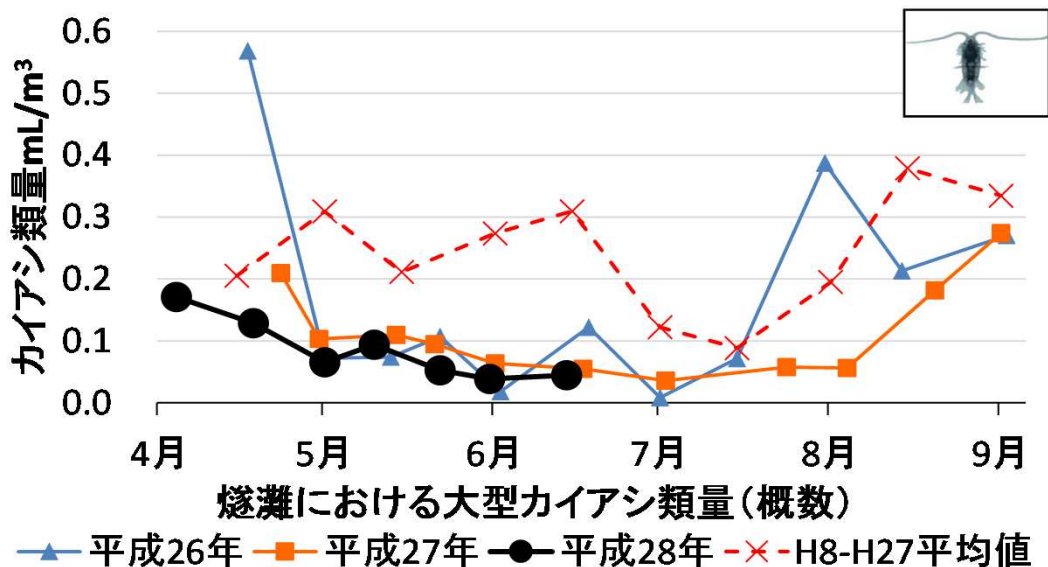
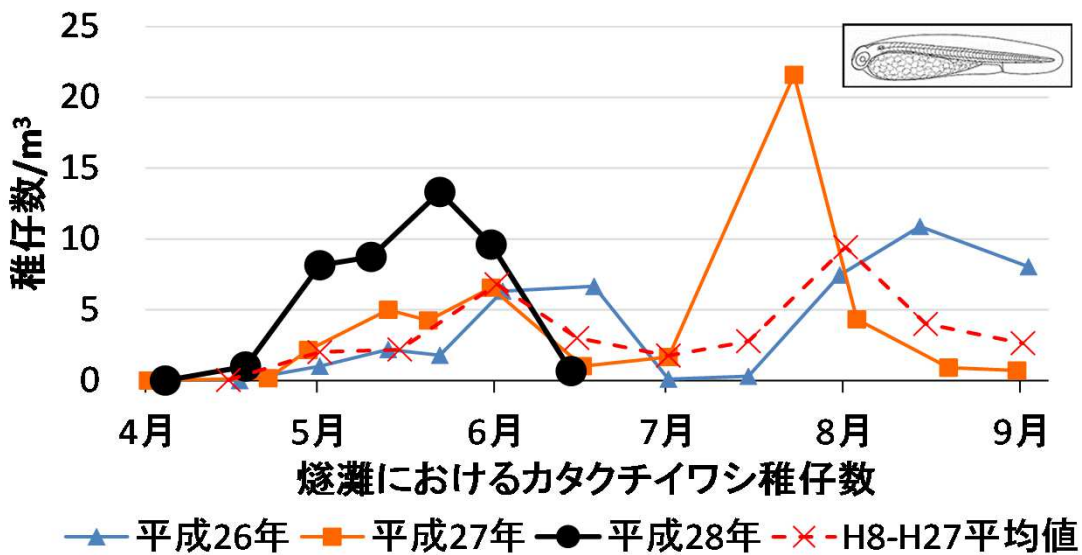
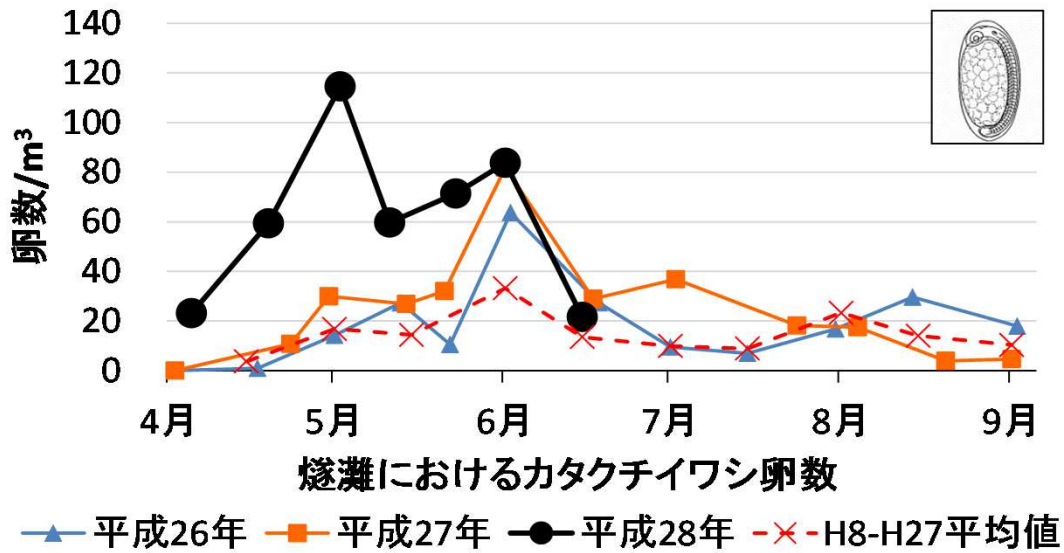
21 ← 卵数
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量
5 ← 稚仔数

平成28 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(6回目)

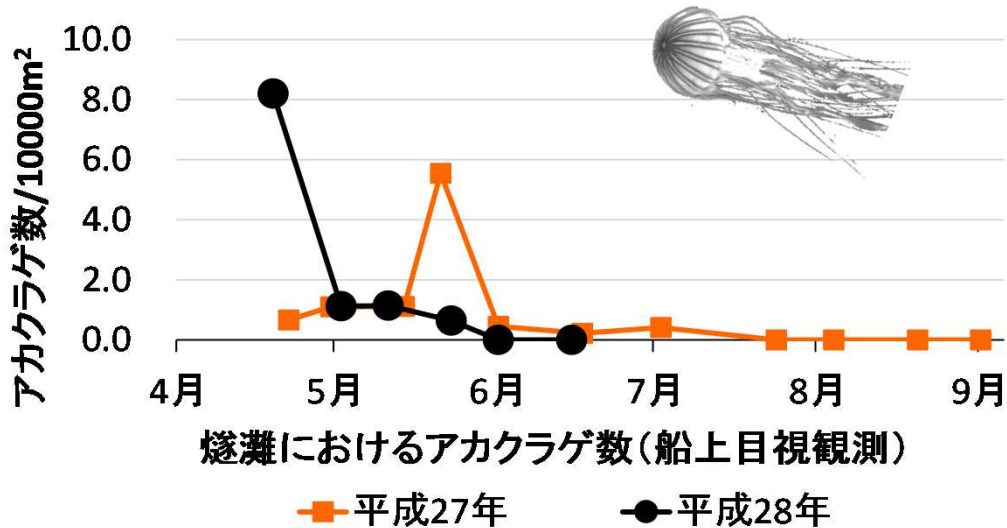
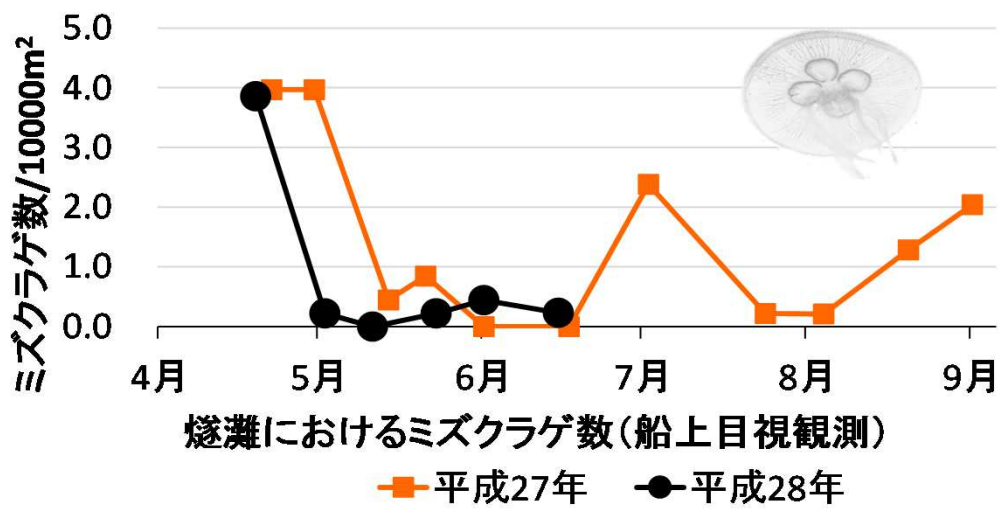
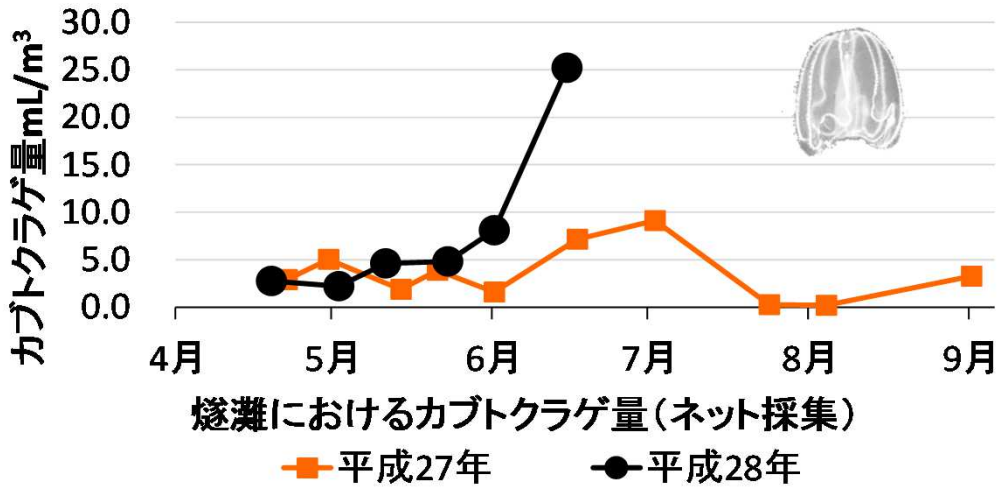
調査日: 2016/6/15

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	22.8	6	0	2	1	0	0
H2	20	24.2	32	0	1	1	0	1
S1	20	23.6	24	0	4	1	0	0
S2	20	24.4	7	0	2	0	0	2
H3	20	24.5	11	0	0	0	0	0
S3	20	24.1	4	0	6	0	0	1
H4	20	24.1	10	0	1	0	0	0
H5	20	24.7	4	0	8	0	0	0
S10	20	24.2	10	0	3	0	0	0
H6	20	24.1	23	0	1	0	0	0
H7	20	23.3	32	0	4	2	0	0
S7	20	23.1	66	0	5	1	0	2
S11	20	22.5	43	0	9	0	0	2
S12	20	22.9	3	0	2	0	0	1
S13	20	22.9	24	0	5	1	0	0
S14	20	23.2	36	0	1	1	0	2
S15	20	23.4	33	0	6	2	0	2
7点平均		23.9	17	0	2	1	0	0
平均		23.6	22	0	4	1	0	1

※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均 ※採集数はm³当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。ミズクラゲ、アカクラゲはH1～H7の7点における平均船上目視観測数(船速平均約7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mの範囲で視認できるクラゲの数)。クラゲ発生量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。